

「ニセコ町人口ビジョン」及び「ニセコ町総合戦略」骨子（案）への意見に対する考え方（案）

1. 意見募集（パブリックコメント）結果の概要

- ・意見募集期間 平成 27 年 12 月 21 日（月）～平成 28 年 1 月 15 日（金）
- ・縦覧方法 役場窓口、行政推進員配布、町ホームページ
- ・意見提出人数 6 名
- ・意見数 68 件（人口ビジョン 21 件、総合戦略 47 件）

2. ご意見に対する考え方（案）

（1）「ニセコ町人口ビジョン」骨子（案）に対するご意見

【全般】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	ニセコ町の人口動向の特徴をより適切に反映すべき。確固としたデータの裏付けが弱い。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、人口ビジョン全体にわたり、解説の肉付けを行う。 ● なお、「ニセコ町自治創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）策定後の平成 28 年度以降も、PDCA サイクルによるフォローアップの中で、必要に応じて、さらなる修正を加えることができる。
2	地方の人口減少は国の政策に起因しており、国政の方向性と無関係に、自治体の努力だけで克服できるとは思えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、人口減少問題は、ニセコ町単独の努力だけで全て解決できるものとは限らない。 ● 国、北海道、周辺市町村などとの適切な役割分担の下、地域の実情に応じてニセコ町が自主的に実施すべき施策を、総合戦略に位置づけて実施するものとする。

【人口の現状分析】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
3	1980 年から恒常的に微増傾向にあるのがニセコ町の総人口の特徴であり、正確に表現すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。
4	人口の増加傾向は、町村の中では珍しいが、大きな都市を含めると、人口増加するのは珍しくない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。

5	出生数・死亡数の動向について、「1995年以降、2、3年の例外を除き、一貫して死亡数が出生数を上回っている」と正確に表現すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。
6	合計特殊出生率の変動(減少から増加に転じた)の要因を分析することで、合計特殊出生率を高める施策のヒントが得られるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民との意見交換では、幼児センターなどの子育て環境が要因との意見があった。 ● 今後もPDCAサイクルによりフォローアップしていく。
7	転入・転出について、10歳未満の社会増は、20-40代の家族移住に伴う結果であり、ニセコ町の特徴として必ずしも取り上げる必要はない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 10歳未満の動向は、20~40代の移住者が単身か家族かを示す補足情報として示している。
8	20~30代の転入が多いことは、ニセコ町の人口動態の特徴の一つ。将来の人口を考える際にどう積極的に捉えるかが重要な課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ● 20~30代の転入が多いことは、他の市町村と比べて、若者の移住・定住を積極的に呼び込める可能性を示しているとも考えられる。 ● このためには、若者に(又は幼年期・少年期から)、ニセコ町の魅力を伝え、ニセコ町への誇りや愛着を持ってもらうことが重要と考えており、総合戦略の基本目標3に「ニセコ町への誇りや愛着を持つ人材の育成」を掲げている。
9	転入元・転出先について、年齢別の内訳などのデータ分析を行い、今後の施策に生かすべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 転入元・転出先について、骨子(案)で示した以上の情報は整理していないが、今後も継続的にデータ分析を深めていく。

【就業・雇用などの現状分析】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
10	「農業・林業」の従事者数は、多いものの減り続けているため、施策を検討すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本目標1の施策に、「地域農業の担い手の育成・確保」を位置づけている。
11	正規職員割合のグラフの解説が誤っている。ニセコ町で多いのは、「家庭内職者」ではなく「雇主的ない業主」である。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、解説の誤りを修正する。
12	完全失業者数の検討にあたり、国勢調査だけでなく、ハローワークのデータなどとの比較検討も必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ● ハローワーク岩内管内の雇用失業情勢のデータも追加して、完全失業者数の動向の解説を肉付けする。

13	完全失業者数は、男女とも増加している。増加率は男女で大きく変わらないため、男性の増加が顕著とは言えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 2000年-2010年の完全失業者の増加数を比較すると、男性は127名、女性は46名と、大きな差がある。
14	新規求人数・就職件数・マッチング率のグラフは、説明を読んでも内容を理解できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 月別有効求人数・有効求職者数・有効求人倍率にグラフを差し替えた上、より分かりやすい説明に見直す。
15	冬季に有効求人倍率が増加する理由は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬季は特に「サービスの職業」の有効求人倍率が上がっていることから、観光業などの求人が増加しているものと考えられる。

【将来の人口推計と分析】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
16	社人研推計は、日本全体の傾向を反映した計算にすぎないため、社人研推計と町独自推計の違いを強調する必要はない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、社人研推計をグラフから削除する。
17	これからニセコ町は変わっていくと思うが、人口が多くなるのもあまりニセコ町らしくないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来人口推計では、総合戦略の推進によって、総人口は、現在と同水準の5,000人規模を維持することを見込んでいる。
18	将来人口推計において、移動率が0になれば、人口減少するのは当然。「将来人口に及ぼす自然増減、社会増減の影響度の分析のグラフ」が、何を説明したいのかが分からない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ニセコ町の総人口を維持する面からは、自然増減対策（出生数の増加や死亡者数の低減）よりも、社会増減対策（移住者の増加や転出者の低減）に重点的に取り組む方が、より高い効果が見込まれることを示している。
19	「移住者減や転出者増（社会減）による影響をより強く受ける」との表現は、生煮え状態で、どうするかに答えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● また、自然増減・社会増減の影響度の比較については、住宅建設計画を考慮せず、合計特殊出生率、移動率とも現状値を仮定した人口推計に対して、合計特殊出生率又は移動率が、最悪シナリオを辿るといふ仮定をしたときの将来人口推計を比較したグラフにより示す。

【人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
20	人口の変化が集落単位に与える影響は、すでに顕在化しており、対応が求められる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 集落単位の影響に対する対策は、集落単位ではなく、町のまちづくり全体の中で、今後の議論の対象となる。

21	高齢化率は増加傾向にあるが、周辺町村より増加率も平均年齢も相対的に低い特徴がある。このことをどう捉えるかも、今後の検討課題である。	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者の転出が少ないため、現時点では課題と認識していないが、将来は高齢者のさらなる増加が見込まれることから、高齢者の状況の分析は今後も続けていく。
----	---	---

(2)「ニセコ町総合戦略」骨子(案)に対するご意見

【全般】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	「住むことが誇りに思えるまち」は、結果として得られるものであって、目標に据えることに違和感がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくり基本条例と人口の増加傾向の関係に関しては、「農業に加えて観光を中心としたまちづくりに長きにわたり取り組んできた歴史や成果を総合して、いわば「ニセコブランド」が形成されていることとも相まって、町民一人ひとりが自ら考え、行動することにより「日々の暮らしの中でよろこびを実感できるまち」を目指してきたことが、町全体で、定住環境の質や安心感などの基盤の向上につながり、ニセコ町のまちづくりに共感した移住者などを呼び込んでいるという側面もある」との表現に見直した。 ● なお、総合戦略は、日本全体や北海道全体で人口減少が進んでいく中においても、将来にわたり、地域経済を豊かにし、資金や人材を呼び込むための地域経済戦略であり、国の地方創生の趣旨を的確に表現する必要がある。 ● また、ニセコ町としての魅力とニセコエリアとしての魅力の両方が考えられることも踏まえて的確に表現する。 ● 将来は、ニセコ町の関係者それぞれが総合戦略の推進主体として自立していくことを目指すべきと考えている。
2	ニセコ町の人口増加傾向について、「住むことが誇りに思えるまち」に向けた実践や、町民一人ひとりが「日々の暮らしの中でよろこびを実感できるまち」の実現を目指してきた結果とみなすのは時期尚早ではないか。	
3	<p>(まちづくり基本条例との関係)の記述を、以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「全国的な人口減少が進んでいく中、ニセコ町は人口が増加傾向にある珍しい自治体である。行政と町民一人ひとりが「日々の暮らしの中でよろこびを実感できるまち」に向けた実践を積み上げることで、「ニセコ町まちづくり基本条例」が目指す「住むことが誇りに思えるまち」が実現でき、人口減少をくいとめることにつなげることができる。」</p>	
4	<p>(地域経済戦略としての性格)の記述を以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「自然環境をはじめとした地域資源を守るとともに最大限に生かしながら地域経済を豊かにし、町民の生活を安心して豊かなものにするための地域経済戦略としての性格を持つ。</p>	
5	<p><将来像のねらい>を以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「町民一人ひとりが、世代を問わず「日々の暮らしのなかでよろこびを実感できるまち」の前提となる安心(安定した収入があり、子育て、医療、福祉、移動、雪対策などの面での行政による「環境整備」が根底にある)の実現が、ニセコ町まちづくり基本条例が目指す「住むことが誇りに思えるまち」につながる。</p>	

6	<p><将来像>の<基本的方向>を以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「交流・連携のネットワークを拡げてニセコ町とニセコエリアの魅力を発信するとともにニセコ町民が安心して暮らせる生活環境と移住・定住などの受入環境の整備を進め、将来にわたり、「住むことが誇りに思えるまち」であり続ける。」</p>	
7	<p>優れた自然環境を守ることが、総合戦略の基本的方向になるのではないか。移住者のアンケートでは、ニセコ町の魅力として、自然環境の豊かさに起因するものが上位を占めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の豊かさ自体は、「ニセコ町総合計画」の方で担保しており、総合戦略は、それらをどう生かすかに重点を置いた施策を位置づけている。
8	<p>町内で活用されていない人材、資金、産業、資源などを活性化させる仕組みや、住民参加を促進させる施策の検討を行うべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内で活用されていない人材、資金、産業、資源などの掘り起こすため、まずは、まちづくり町民講座などの意見交換の場の工夫に努める。
9	<p>良い施策を実施するにも、限られた財政の中、財政面が気になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● PDCA サイクルによるフォローアップの中で、事業別の優先順位をつける方法についても検討していく。
10	<p>個々の施策がそれぞれ重要だが、多すぎるので、絞り込むことも必要である。</p>	
11	<p>町民意見の収集・反映の努力は、パブリックコメントの提出意見にどのように反映されたのか。数字で把握する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● パブリックコメントの意見提出者は6名、意見数は68件。 ● 意見内容についても、総合戦略の充実に役立つ建設的な意見が数多く得られたことも、大きな特徴である。
12	<p>町民講座や各会議を傍聴していたにも関わらず、骨子(案)の内容が難解、総花的で枚数も多い。骨子(案)が町内で回覧されたが、内容が町民に理解されているか疑問に思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合戦略本文は、説明を丁寧に残すことを優先すべきと考えており、分量は多くなる見込み。 ● 今後、総合戦略の内容は、まちづくり町民講座や広報などで分かりやすく解説する。 ● 併せて、総合計画の基本理念「環境創造都市」を踏まえ、総合戦略のキャッチフレーズを示す。
13	<p>文章や内容が一部重複している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、総合戦略本文では、分かりやすく整理する。

14	「地域特性」、「地域性」、「地域資源」などの言葉の意味をできるだけ厳格に定義して使用するべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文全般にわたり、表現は、町民の皆さんにより分かりやすいものになるよう努める。
----	---	---

【基本目標1：多様なライフスタイルやニセコの地域性に対応した労働環境の整備】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
15	<p><基本目標1>を以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「ニセコの地域資源を活かした新たなビジネスを起し、多様なライフスタイルに合わせて働ける雇用環境を増やす。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘の趣旨を踏まえ、基本目標1を「ニセコ町の地域資源を生かし、多様な働き方を実現できる環境づくり」に見直す。 ● また、地域経済循環分析結果も踏まえ、<基本的方向>に、「地域資源を生かし、民間消費や調達を町内で受け止められる魅力的な仕事を生む」旨を示す。
16	<p><基本的方向>について、安定した収入が得られるようにするには、まずは「ニセコの地域資源を最大限活用する雇用機会を増やすこと」を優先すべき。</p>	
17	<p>再生可能エネルギーの地産地消を、自治創生の基軸戦略に据えるべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、総合戦略の位置づけとして、「環境創造都市ニセコ」が、豊かな自然環境をはじめとした地域資源を守るとともに最大限に生かしながら地域経済を豊かにし、資金や人材を呼び込むための地域経済戦略でもある旨を、地域経済循環図の解説とともに明示する。 ● 併せて、総合計画の基本理念「環境創造都市」を踏まえ、総合戦略のキャッチフレーズを示す。 ● さらに、基本目標1では、「地域経済循環の構築と「稼ぐ力」の強化」の筆頭施策に掲げ、「環境モデル都市アクションプランに基づく省エネルギー・再生可能エネルギーの導入促進」の関連事業を位置づけるとともに、温室効果ガス排出量を数値目標に設定するなどの特徴を持たせる。
18	<p>農業の位置づけや役割を評価し、その機能をも高める施策を追加すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業はニセコ町の基盤産業の一つとして重要であり、地域経済分析システム（RESAS）によれば、町外との収支が

19	＜具体的施策＞の「ニセコ町農産物のブランド化」について、「クリーン農業」のさらに先に行く地点に目標を定め、「有機農業促進」の具体策を位置づけるべき。	<p>プラスになっているのは、農業だけである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、総合戦略では、農業関連の施策として、「地域農業の担い手の育成・確保」、「ニセコ町産農産物のブランド化」及び「ワイン特区を生かした農業の担い手確保と付加価値向上」を位置づけて推進していく。 ● 今後の総合戦略のPDCAサイクルによるフォローアップで、さらに具体化・重点化を進めていく。
20	観光業と比較して、農業の施策が少ない。町内基幹産業間のバランスが欠けている。ワイン特区を活用した事業も追加すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ビジネスマッチング」のマッチング先の一つに、観光業者も明示する。
21	＜具体的施策＞の「ニセコ町農産物のブランド化」について、農家と宿泊業との連携による「アグリツーリズム」についても、具体的施策として検討すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ビジネスマッチング」のマッチング先の一つに、観光業者も明示する。

【基本目標2：ニセコとの交流ネットワークの拡大と受入環境の整備】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
22	＜基本的方向＞に、「交流ネットワークの拡大」とあるが、意味が不明であり、「来訪者を増やす」と修正してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘などを踏まえて、基本目標2を「ニセコ町の交流人口の拡大と定住環境づくり」に見直す。 ● なお、「交流ネットワーク」は、来訪者だけではなく、ニセコ町に興味を持ち、応援する人を広く含む表現として使用していた。
23	＜基本的方向＞に、「観光業などを介して」とあるが、観光業に限定せず、交流はオールニセコで進めるべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「観光業など」と表現しており、観光業に限定しているとのことご指摘はあたらないと考えている。
24	＜基本的方向＞で、移住者を「Jターン」に限定する理由はない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。
25	＜基本的方向＞に「医療サービス」を追記すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の転出が少ないことを踏まえ、現時点では課題と認識していないが、将来は高齢者のさらなる増加が見込まれることから、高齢者の状況の分析は今後も続けていく。 ● また、現在、「地域保健医療施設運営補助」として、広域で行われている救急医療や地域医療の充実対策に必要な経費

26	<p>＜具体的施策＞に「安心・安全な医療・福祉施設の充実」を追加すべき。</p>	<p>について広域町村で財政支援しているが、将来、その負担額が増加していくことも考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少問題は、二セコ町単独の努力だけで全て解決できるものとは限らず、国、北海道、周辺市町村などとの適切な役割分担の下、地域の実情に応じて二セコ町が自主的に実施すべき施策かの観点からも考える必要がある。
27	<p>＜具体的施策＞に「地域の公共交通の確保・充実」を追加すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本目標2の施策「観光需要の受入体制の充実」に、「二セコエリアの二次交通の確保」を位置づけている。 ● ここで指している「二セコエリアの二次交通」は、観光客だけでなく、町民の公共交通の利便性の向上にも貢献するものを指している。
28	<p>＜具体的施策＞に「雪害対策の充実」を追加すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の転出が少ないことを踏まえ、現時点では課題と認識していないが、将来は高齢者のさらなる増加が見込まれることから、高齢者の状況の分析は今後も続けていく。
29	<p>二セコ町は住宅不足なのに、都市部からの定住を促していることに矛盾を感じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口集中の加速が課題となっている東京圏・札幌市に対して、転出が超過しており、東京圏・札幌圏への人口集中に歯止めをかけていない。 ● 将来に備えて、東京圏や札幌市からの人の流れを増やすとともに、より質の高い定住環境づくりと併せて進めていく必要がある。
30	<p>変化も必要だが、懐かしさを感じられるような、変わらないモノを残していく重要性を感じる。それらを通じて、二セコ町民（出身者・移住者）の共生が図られると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本目標2の施策「ふれあいの場の確保」や、まちづくり町民講座などの意見交換の場の工夫により、まずは、二セコ町民（出身者・移住者）の交流を進めていく。
31	<p>総合戦略骨子にもあるとおり、「人との出会い」がポイントになると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、基本目標2の施策に、「結婚の出会いのマッチング」や「ふれあいの場の確保」などを位置づけている。

【基本目標3：ニセコ町への誇りや愛着を持つ人材の育成】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
32	<p><基本目標3>を以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「人材の育成、強化に取り組み、ニセコ町の魅力を発信できる人材を育て、Uターン者を増やす」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。
33	<p><基本目標のねらい>の3点目を以下のとおり修正してはどうか。</p> <p>「ニセコ町への誇りや愛着をもつ人材を育て、一時的に町を離れても、ニセコの魅力を町外で発信できるネットワークを強化してUターン者を増やし、Uターン者も増やす。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。
34	<p>「ニセコスタイルの教育」として、「幼小中高一貫教育」と「コミュニティ・スクール」を掲げているが、内容が理解できていない。大きな制度変更を伴うものであれば、合意形成のための時間が別途必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会で、制度づくりに向けて、関連の会議などを公開しながら検討を進めているところ。引き続き、情報共有に努めていく。
35	<p>「ニセコスタイルの教育」について、以下の項目を追加してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ニセコエリアで創作や演奏活動を行っている人材の協力を得て、小中学校での授業に取り入れる。 ✓ ニセコ町の開拓、産業の歴史、自然、気候風土について専門家などによる授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ニセコスタイルの教育」の具体的取組に関するご提案の一つとして、教育委員会にフィードバックする。
36	<p>教育の充実として、英語だけでなく、中国語などの教育も必要になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本目標3の施策「国際交流の場づくり」は、語学を英語だけに限定しないため、「国際交流」と表現している。 ● なお、現在町内で活動している国際交流員は、英語だけでなく、中国語、韓国語、ドイツ語にも対応できる。

【基本目標4：ニセコエリアのブランディングを生かした連携実績の蓄積】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
37	＜基本目標4＞を、「ニセコエリアの「自然環境の魅力」を生かした連携実績の蓄積」に修正してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境が豊かな自治体はニセコ町に限らないため、「ブランド力」＝「自然環境の魅力」に限るような表現は難しいと考えている。
38	＜基本目標4＞を、「ニセコエリアのブランド力を生かした連携強化」に修正してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ● ニセコ町としての魅力とニセコエリアとしての魅力の両方が考えられることも踏まえて、基本目標4は、「ニセコ町とニセコエリアのブランド力を生かした連携強化」に修正する。
39	＜基本的方向＞の「国内外への魅力発信による認知度向上」を、「ニセコの魅力を内外にPR」に修正すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。
40	＜基本的方向＞の「ストックシェア」が何を意味するのか、表現が分かりにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、表現が分かりにくいいため、例示を削除する。
41	＜基本的方向＞の「ニセコエリア全体としてできることから取り組んで」に関して、何かから連携するか、優先順位まで議論すべきか。	<ul style="list-style-type: none"> ● PDCA サイクルによるフォローアップの中で、事業別の優先順位についても議論していく。
42	＜基本的方向＞の「実績を蓄積することによりニセコエリアの連携体制の構築に貢献していく」を、「ニセコエリアの連携を強化する」に修正すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて、よりの確に表現する。

【自治創生の推進】

	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
43	自治創生の推進組織として、国の地方創生人材支援制度の活用後の役場の専従体制を、早急に決定すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 28 年 4 月以降の役場の専従体制について、総合戦略自体の議論とは別に検討を進めている。 ● 将来は、二セコ町の関係者それぞれが総合戦略の推進主体として自立していくことを目指すべきと考えている。 ● 併せて、「まちづくりを考え行動する町民主体の団体の立ち上げ」も目指すべきと考えており、基本目標2の施策「地域の担い手の育成支援」の中に追加する。
44	自治創生の推進に必要な人材資源と財源が明らかでない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 人的資源に関しては、役場だけではなく、二セコ町のあらゆる関係者が総合戦略の推進主体になり得る旨を示している。 ● 財源に関しては、PDCA サイクルによるフォローアップの中で、事業別の優先順位をつける方法についても検討していく。
45	自治創生の推進にあたり、地域おこし協力隊の積極活用も試みる価値がある。本来の地域おこしの目的に、本制度を有効活用すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘のとおり、地域おこし協力隊は、総合戦略が示している地域課題を解決する担い手を確保する方法としても期待されている制度である。 ● 自治創生とのさらなる連携について、地域全体で考えていく。 ● 協力隊の確保に苦労している自治体も多くみられる中、二セコ町では、平成 27 年度は5名もの協力隊が活躍しており、より積極的に連携する余地がある。
46	二セコ町での実践の参考となる、他自治体での先行例の情報提供があると、まちづくりの参考になる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 国が集約している事例集などについても、まちづくり町民講座などを活用して紹介していく。
47	まちづくりの語り合いの場は、人と人とのふれあいの場となり、移住者も二セコに根を下ろせる土壌となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの語り合いの場が、移住者を含めた町民のふれあいの場となり、さらには、「第5次二セコ町総合計画」の戦略ビジョン 11（住民みんながまちづくりを考え、活動します）に示すとおり、

		住民自身により公共を担う町民の自主的な活動や、新しい公共の担い手が生まれることなどにかにつなげるかが重要と考えている。
--	--	---